

第25回 いわき都市圏総合都市交通推進協議会



[意見聴取]

(1)小川地区における定額タクシーの社会実装について

[報告事項]

(1)令和8年度第1回バス無料デーの利用状況について

(2)地域公共交通計画の改定に向けた基礎調査の進め方について



令和8年8月27日（木） 14：30～



[意見聴取]

(1) 小川地区における定額タクシーの 社会実装について





意見聴取(Ⅰ) 小川地区における定額タクシーの社会実装について



○ 小川地区の現状

【小川地区バス・鉄道路線図】

《小川地区》比較的人口が多い・一部バス路線・鉄道（磐越東線）有

課題

① 公共交通機関までの移動手段がない。

② 1日の便数が少なく、利用したい時間に運行されていない。

③ 利用者が減少していくと、維持が困難になる恐れがある。



【小川～平 バス・鉄道 料金と所要時間】

モード	運 賃	所要時間
鉄 道 (小川郷～いわき)	260円	平均 約11分
バ ス (小川農協前 ～いわき駅入口)	640円	平均 約23分

(株新常磐交通・JR東日本 ホームページから作成)

【小川地区の人口】

(令和8年4月1日時点)

	世帯数 (世帯)	人口 (人)			
		総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上
小川地区計	2,745	5,874	535	2,940	2,399
下小川	152	314	17	149	148
関場	58	139	12	69	58
上平	255	509	41	252	216
柴原	330	721	69	387	265
福岡	61	117	7	49	61
上小川	645	1,312	112	617	583
塩田	236	562	58	302	202
高萩	520	1,144	118	600	426
三島	60	131	12	55	64
西小川	428	925	89	460	376

高齢化率：約41%

いわき市の高齢化率 33%



意見聴取(Ⅰ) 小川地区における定額タクシーの社会実装について



Ⅰ 令和7年度小川地区定額タクシー実証結果の報告について

○実証事業の内容

タクシー利用料金の一部を助成

・小川地区内：1回 1,000円

※小川地区内でタクシーを利用した際、
1,000円を超える料金を助成。

・小川地区外

①メーター料金が4,000円未満の場合：1回 1,500円

②メーター料金が4,000円以上の場合：1回 2,000円

※小川地区外の指定施設までタクシーを利用した際、
メーター料金に応じて、最大2,000円を超える料金を助成。

利用期間
(実証期間)

●令和7年11月1日(土)～令和8年2月28日(土)

利用対象者

●小川地区に居住する15歳(高校生)以上の方

利用時間

●午前8時～午後6時までの乗車のみ有効
※高校生は通学・部活時間帯の利用も可能

運行事業者

●株式会社平和タクシー

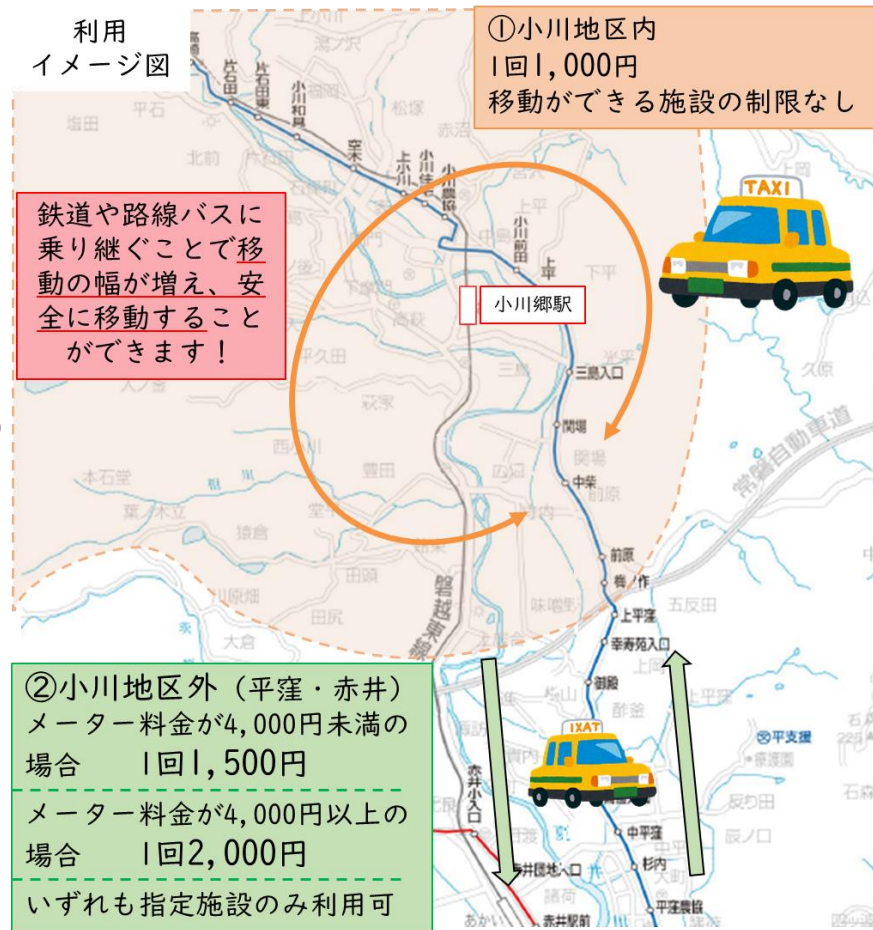
利用料金

●小川地区内：1回 1,000円
小川地区外：1回 1,500or2,000円
※メーター料金に応じて変動
※相乗りした場合も1台あたりの料金は同じ

移動の範囲

●小川地区全域
●地区外の移動は、平窪・赤井地区の商業施設、
医療機関、金融機関、公共機関
●平窪・赤井地区内の移動は対象外

利用
イメージ図



○実証事業の結果

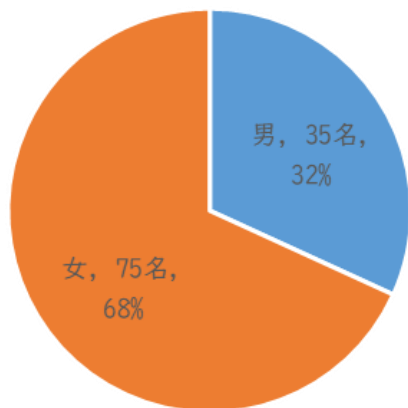
登録者：110名	平均年齢：76歳
実利用者：23名	利用回数：146回
乗車人数：162名	補助額：199,500円



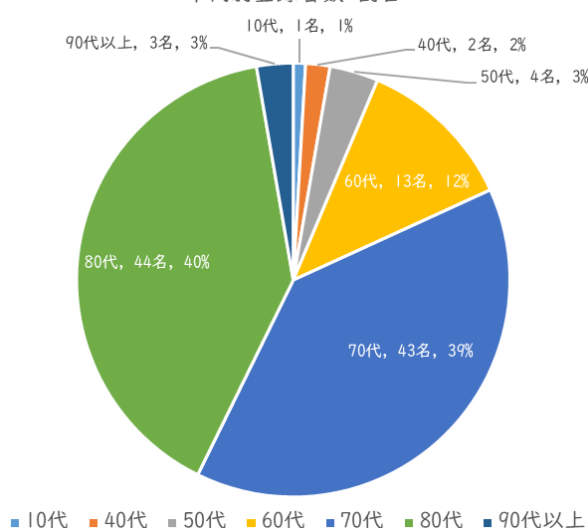
意見聴取(Ⅰ) 小川地区における定額タクシーの社会実装について



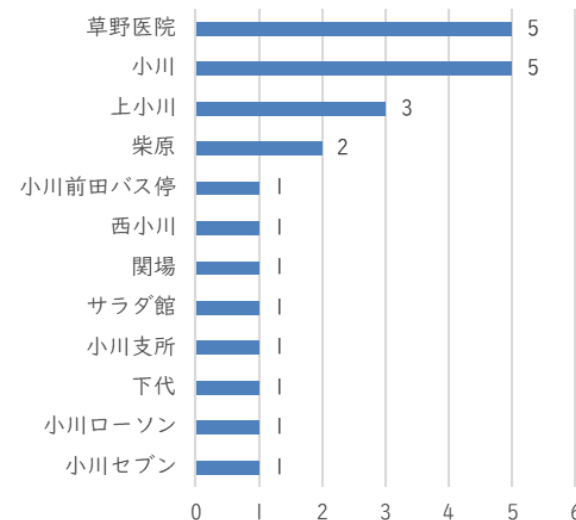
男女別割合



年代別登録者数・割合

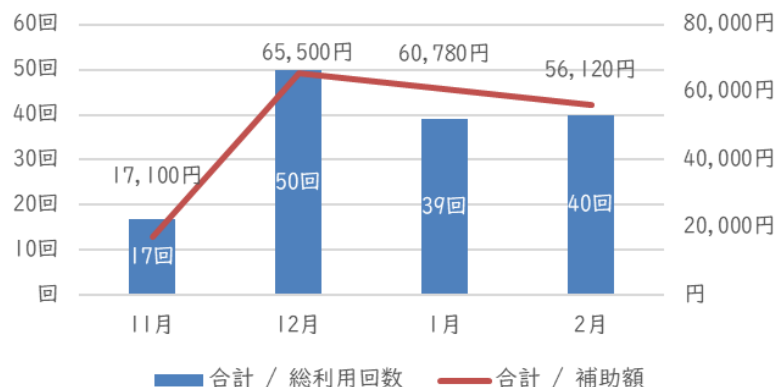


地区内目的地

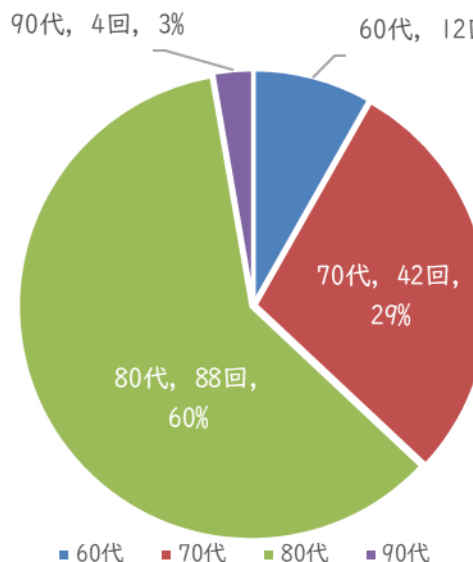


※自宅を除く

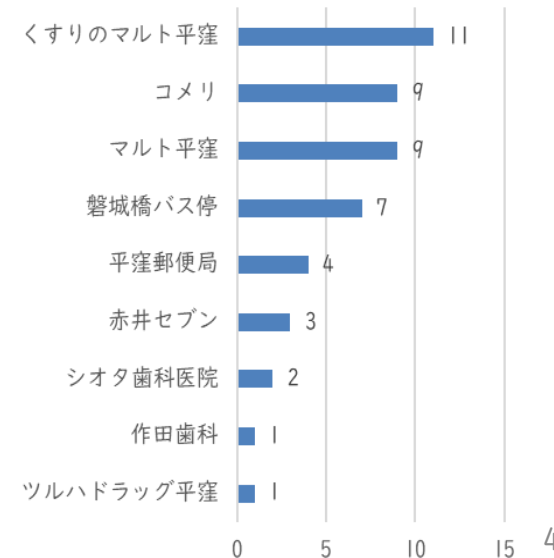
月毎の利用回数と助成額



年代別利用者数・割合



地区外目的地





意見聴取(Ⅰ) 小川地区における定額タクシーの社会実装について



2 小川地区定額タクシーの社会実装について

- 対象者 15歳（高校生）以上
- 利用時間 午前8時～午後6時（高校生は通学・部活時間可）
- 移動範囲 小川地区内全域・地区外は指定施設のみ



昨年度の実証と同条件

利用条件	昨年度実証	実装案
地区内自己負担額	1,000円	
地区外自己負担額	地区外メーター料金 4,000円未満：1,500円 4,000円以上：2,000円	
利用回数/月	制限なし	16回
年間助成額見込	609,420円	713,628円
地区外 指定施設数	商業施設：9か所 医療機関：8か所 金融機関：4か所 公共施設：2か所	商業施設：12か所 医療機関：8か所 金融機関：4か所 公共施設：2か所
利用1回あたりの平均助成額	1,081円	1,265円
利用者1人あたりの年間平均助成額	26,497円	31,027円
登録者1人あたりの年間平均助成額	5,540円	6,488円
参考：地区内 平均助成額/回	333円	333円
参考：地区外 平均助成額/回	1,249円	1,477円

利用過多による助成額の偏りを防ぐために
利用回数制限を設定
※実証時に月16回を超える利用はなし



助成額の平準化を図るため、
・月ごとの利用回数制限を追加



衣食住を整えるため、
・要望のあった商業施設を追加
※追加施設
ファミリー好間店・ベニマル好間店・
マロト城東店



追加した商業施設の距離に応じて
試算したところ、大きく補助金が
増加することはない見込み

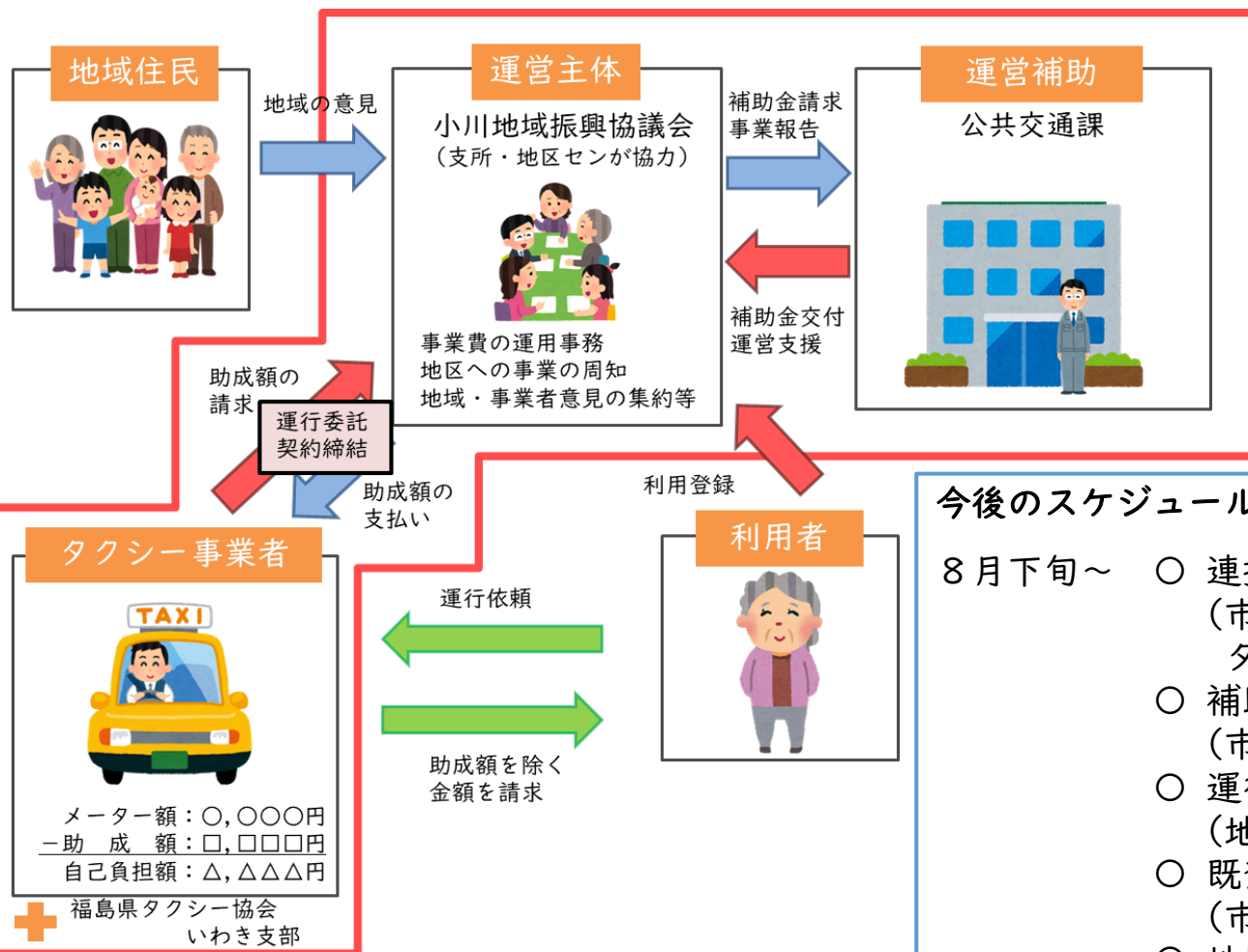
実証の結果、利用者1人あたりの年間
助成額は他地区の実証と同程度であり、
地域の移動手段として効果を発揮し、
持続可能なものと考えられることから
社会実装に向けた準備を進めます。



意見聴取(Ⅰ) 小川地区における定額タクシーの社会実装について



各関係団体の役割



連携協定



いわき市・タクシー事業者・
タクシー協会いわき支部・
地域振興協議会の4者で
地域交通確保に関する
連携協定を締結

今後のスケジュール (案)

- 8月下旬～
- 連携協定の締結
(市・地域振興協議会・
タクシー事業者・タクシー協会)
 - 補助金の申請・交付
(市・地域振興協議会)
 - 運行委託契約の締結
(地域振興協議会・タクシー事業者)
 - 既登録者への更新案内
(市)
 - 地域への周知※新規登録者の募集
(地区回覧・広報投込み)
- 10月上旬
- 社会実装



[報告事項]

(1)令和8年度第1回バス無料デーの利用状況 について





(1) 令和8年度 第1回バス無料デーの利用状況について



1 バス無料デーの概要

利用者の減少が続いている公共交通の利用を促進するとともに、買い物等の外出機会の創出による地域経済の活性化や交通渋滞の緩和、環境負荷の軽減などを目的に実施

2 令和8年度 第1回バス無料デーの開催状況について

- ・実施日 令和8年6月7日(日曜日) ※日・祝ダイヤでの運行
- ・対象路線 新常磐交通が運行する、いわき市内発着の路線バス全15路線(高速バス、観光バス等は除く)
※当日はアクアマリンパークでいわき大まつりが開催されており、バス展示などのPR活動を実施した

・バス無料デーと前後の週の比較

第3回	前週	無料デー当日	翌週
日付	5月31日(日)	6月7日(日)	6月14日(日)
利用者数	2,129人	3,931人	2,342人
増加率	184.6%		167.8%



前週比較184.6%、翌週比較167.8%の増加率
潜在的なバス利用者があることを確認

無料デー 利用の多かった路線 上位5路線

路線名	乗車人数		
	前週利用者	当日利用者	翌週利用者
平ー鹿島S Cーイオンモールー小名浜 (19本)	607	1,422	684
平ー高専前ー飯野ー中央台 (21本)	447	575	465
泉ーイオンモールー小名浜 (22本)	236	374	285
平ー常磐病院ー湯本駅 (12本)	192	349	162
中央営業所ー江名ー豊間ー平 (4本)	57	219	77



バス無料デー当日の様子
平ーイオンモール小名浜



いわき大まつり
バス展示の様子
たくさんの親子連れで
にぎわった

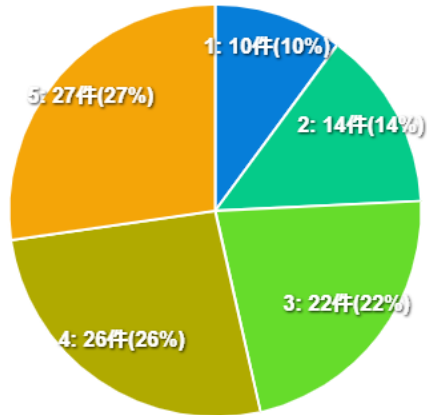


(1) 令和8年度 第1回バス無料デーの利用状況について



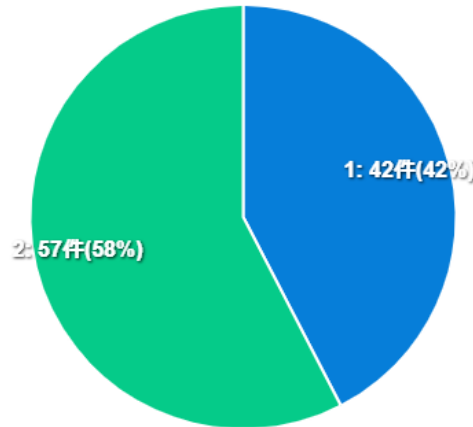
3 実施後のアンケートについて

● 普段のバスの利用頻度



● 1. ほぼ毎日 ● 2. 週に数回 ● 3. 月に数回 ● 4. 年に数回 ● 5. 利用しない

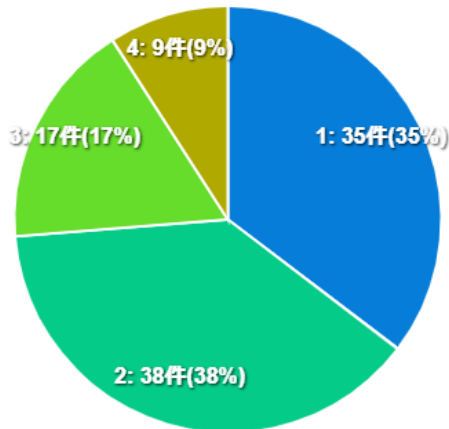
● 前回(3/18)のバス無料デーを利用したか



● 1. 利用した ● 2. 利用しなかった

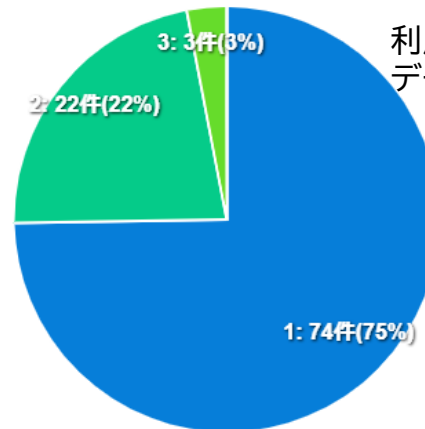
アンケート回答者のうち、約6割の人が前回の無料デーを利用していなかった。今回の無料デーが**バス利用のきっかけ**となっていると考えられる。

● 今後のバス利用について



● 1. 積極的に利用したい ● 2. 時々利用したい ● 3. 普段と変わらない ● 4. 利用しない

● バス無料デーの取組について



● 1. 満足 ● 2. どちらかといえば満足 ● 3. どちらかといえば不満 ● 4. 不満

バス無料デーにバスを利用した人の**約7割**が今後バスを積極的に利用したい・時々利用したいと回答。

利用者の**約9割以上**は今回のバス無料デーについて**満足**との回答。



(1) 令和8年度 第1回バス無料デーの利用状況について



3 実施後のアンケートについて

寄せられた主な意見（抜粋）

- ・バス無料デーの定期的な開催をして欲しい
- ・子どもの初めてのバス乗車体験や、免許返納に向けた乗車練習として利用できた
- ・運転しなくて良いのでストレス解消になった
- ・イベントの日に合わせて実施してくれたのがとても良かった
- ・少しでもCO2削減できるなら利用したい
- ・無料ではなくても、100円デーでも利用する。お得なサービスを増やして欲しい
- ・休日に乗れる路線や本数を増加して欲しい
- ・利用が集中し、大変混雑していたことから臨時便を運行してほしい
- ・PR不足ではないか。いわき市の住民でも無料デー知らない人がいる
- ・今回泉駅からいわき駅まで乗ろうとしたが乗り換え場所が分かりにくかった。停留所の案内を分かりやすい表示にしてもらえると助かる
- ・特典引換券の場所がわかりやすいとありがたい

4 バス無料デー 次回開催時期について

- 次回のバス無料デーの開催については、**年内(11月～12月ごろ)の平日**を予定
- 第一回は日曜日の開催であったため、対象路線が限られていた。次回は、**土日祝日と比べ、運行路線、ダイヤが多い平日**に開催し、より多くの市民が無料バスに乗車できる機会を提供する
- 今後交通事業者と協議を進め、開催日が決定次第、運賃協議会等の準備を進める

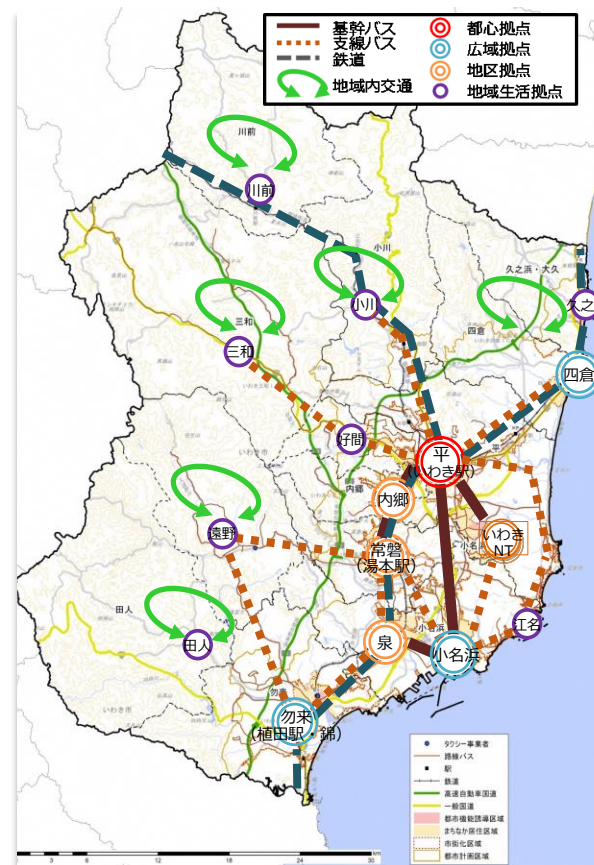


[報告事項]

(2)地域公共交通計画の改定に向けた基礎調査 の進め方について



地域公共交通ネットワークの再編や、ダイヤ・運賃などの改善により、利便性の高い地域旅客運送サービスの持続的な提供を図る事業を実施するための計画。本計画の認定により、運行費に関する補助要件の緩和・重点的な支援など、計画に位置付けられた取組について様々な国の支援を受けることが可能となる。



12



改定に向けた基礎調査と今後のスケジュールについて



■令和8年度:改定に向けた基礎調査

○計画改定作業に向けて、人口動態やモビリティデータ等を収集・整理し、地域の移動に関する実態把握を行い、計画改定に向けた根拠データとして活用する基礎調査を委託

【調査内容】

①現状診断

- ・データを活用した地域交通の現状把握
- ・地域交通の課題の洗い出し
- ・現状診断の取りまとめ

②施策の検討

- ・課題解決に資する対策の整理
- ・計画に位置付けるべき施策の検討



7月27日(月)
今年度の基礎調査委託業者委託契約を締結
契約期間:令和8年7月27日～
令和9年3月26日
契約業者:㈱福山コンサルタント

■今後のスケジュールについて

※適宜、協議会にて協議・報告を行いながら進行

